

基本目標 2

安全で やすらぎのあるまち

生活環境 防災

未来の子どもたちへ豊かな自然環境を引き継いでいくため、市民一人ひとりの環境保全の取り組みを促進するとともに、エネルギーの有効利用を図るなど、自然と共生した心地よい生活環境の形成に向けた取り組みを進めます。

また、地域の安全を守るため、交通安全・防犯対策の充実や消防・救急体制の充実を図るとともに、地域の防災力の向上と自然災害の未然防止対策の推進を図り、安全で安心して暮らすことができるまちを目指します。

施策 2-1	(循環型社会)	54
	循環型社会の形成を推進するまちづくり	
施策 2-2	(衛生環境)	56
	衛生的で快適な生活環境を守るまちづくり	
施策 2-3	(環境保全)	58
	地球環境に配慮したまちづくり	
施策 2-4	(安全生活環境)	60
	安全で安心な市民生活を支えるまちづくり	
施策 2-5	(消防・救急)	62
	消防・救急体制の充実したまちづくり	
施策 2-6	(地域防災・減災)	64
	防災・減災に対応したまちづくり	

基本目標 2 安全でやすらぎのあるまち

施策 2-1

(循環型社会) 循環型社会の形成を推進するまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

廃棄物の適正処理を進めるとともに、排出を抑制する取り組みやリサイクルに努め、循環型社会*の形成を推進するまちを目指します。

現状と課題

地球規模での環境問題がクローズアップされる中、環境への負荷が少ない循環型社会への移行が強く求められています。

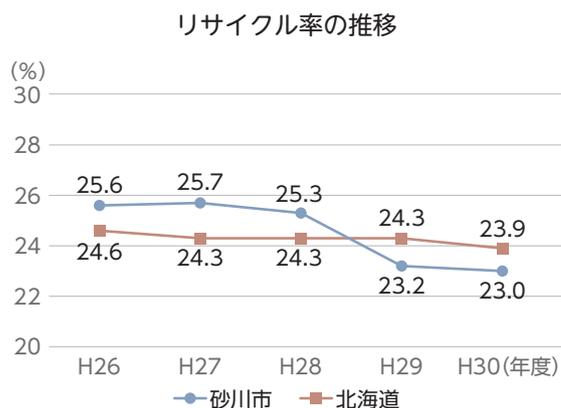
本市でも、紙類を資源として回収する取り組みを実施するなど、分別収集による廃棄物の適正処理や、資源ごみの団体回収奨励によってリサイクルを推進し、ごみの減量化に努めています。しかし、分別・排出のルールが十分に浸透していないことから、様々な手法で、ごみの減量化への関心を高めるとともに、今後も循環型社会の形成をより一層推進するため、廃棄物の排出を抑制する取り組みや再利用の促進など、新たな課題に対応していく必要があります。

廃棄物の中間処理や焼却処理は、広域の市町で運営するクリーンプラザくるくる、中・北空知エネクリーンで行っていることから、今後も関係市町との連携を強化し、対応していく必要があります。

また、一般廃棄物最終処分場の老朽化に伴う施設・設備の改修や修繕についても計画的に進める必要があります。



(資料：市民部市民生活課)



(資料：市民部市民生活課)

用語解説

* 循環型社会……廃棄物等の発生抑制、循環資源（廃棄物等のうち有用なもの）の再使用、再生利用、熱回収、及び循環的な利用が行われない循環資源の適正な処分の確保により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会。

基本事業とねらい

基本事業

① ごみの減量化とリサイクルの推進

ごみの分別排出の徹底を図り減量化を推進し、処理施設の適切な維持管理により廃棄物の適正処理に努めるとともに、リサイクルによる廃棄物の排出抑制に取り組み、循環型社会の形成に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
1人あたりのごみ排出量 (単位: g/日)	1,075	↘	↘	市民1人1日あたりのごみ排出量
リサイクル率 (単位: %)	22.2	↗	↗	全体のごみ量のうち、リサイクルされたごみ量の割合

関係個別計画

- ・砂川市一般廃棄物処理基本計画
- ・砂川市分別収集計画



収集された缶・ペットボトル等の資源ごみ (再選別)



選別されたペットボトル



選別された缶

基本目標 2 安全でやすらぎのあるまち

施策 2-2

(衛生環境)

衛生的で快適な生活環境を守るまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

生活環境の美化や公害の防止などにより、誰もが衛生的で快適に暮らすことができるまちを目指します。

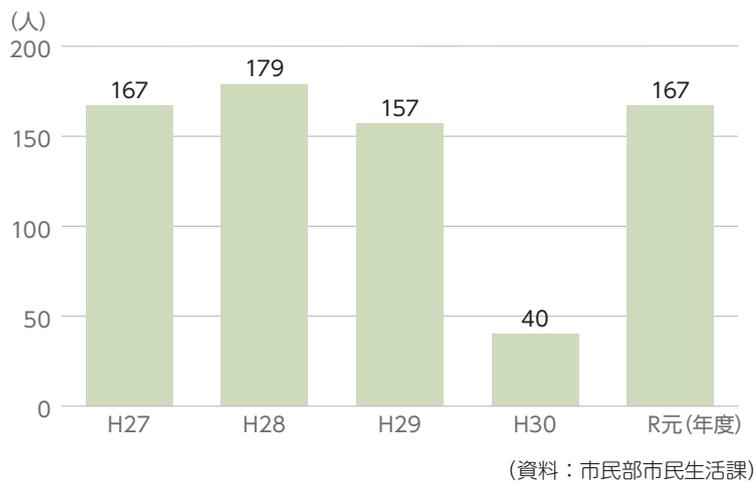
現状と課題

地域の環境美化活動は、衛生組合や町内会などの団体が連携して実施している河川清掃や飛散ごみ回収のほか、個人や事業所によるボランティア活動など、様々な形で実施されていますが、今後も多くの市民が関心を持ち、活動に参加するよう取り組みを進めていく必要があります。

墓地については、少子高齢化や核家族^{*}化など、社会構造の変化により、お墓の維持管理が困難となる市民に対応するため、合同墓を整備しており、今後も適切な維持管理を進める必要があります。また、火葬場（吉野斎苑）は広域の市町で運営していることから、維持管理については今後も関係市町との連携を図り、対応していく必要があります。

公害対策については、市民の健康の保持と生活環境の保全を図るため、河川の水質検査や自動車の騒音調査などを定期的実施し、公害を未然に防止するよう指導・助言を行う必要があります。

美化活動参加者数の推移



用語解説

※ 核家族……夫婦、あるいは夫婦と未婚の子どもだけで構成される家族。

基本事業とねらい

基本事業 ① 生活環境美化の推進

市民主体の環境美化活動を推進し、公衆衛生の向上及び環境美化を推進します。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
環境美化活動参加人数 (単位：人/年)	167	180	190	砂川市衛生組合が主催するパンケ歌志内川清掃・飛散ごみ回収活動への参加人数

基本事業 ② 墓地・火葬場の環境整備

墓地及び火葬場を適正に管理し、利用しやすい環境づくりに努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
墓地区画使用許可率 (単位：%)	89.2	89.6	90.3	北吉野墓地全区画のうち、区画使用を許可した割合

基本事業 ③ 公害防止の推進

公害を未然に防止するための調査及び必要な指導・助言を行い、市民の健康の保持と生活環境の保全を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
環境基準値超過件数 (単位：件/年)	0	0	0	市内の河川の水質や自動車による騒音が、維持されることが望ましい基準である環境基準を超過している件数



パンケ歌志内川河川清掃

基本目標 2 安全でやすらぎのあるまち

施策
2-3

(環境保全)
地球環境に配慮したまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市民とともに地球環境への負荷を軽減するための意識を持つとともに、省エネルギーや低炭素型製品*の活用を推進することで、環境に配慮したまちを目指します。

現状と課題

経済活動やライフスタイルの変化などに起因する地球温暖化などの進行により、環境問題が深刻化する中、環境保全に関する国際的な取り組みが進んでおり、地域における役割や責任も重要になっています。

本市では、「砂川市地球温暖化対策職員行動計画」を策定し、市の関連施設において二酸化炭素などの温室効果ガス排出削減を目標に、電気や燃料の使用量削減などの取り組みを進めています。今後も温室効果ガスの排出削減に向け、自主的かつ積極的に取り組んでいく必要があります。

また、私たち市民一人ひとりが自ら環境問題の当事者であるという意識を持ち、省エネルギーや低炭素型製品を活用するなど、環境に配慮した行動を実践していく必要があります。



用語解説

* 低炭素型製品……二酸化炭素の排出が少ない製品のこと。高断熱住宅や最新の省エネ家電、エコカーなどを指す。

基本事業とねらい

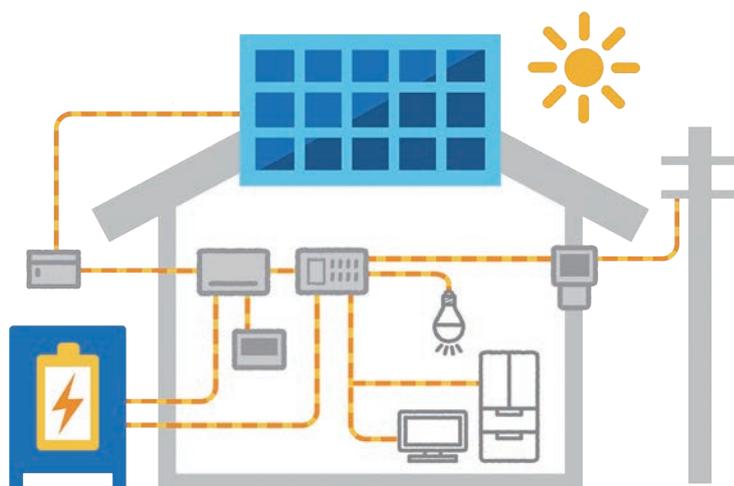
基本事業 ① 地球温暖化防止の推進

地球温暖化の防止に向け、市が率先してエコの取り組みを進めるとともに、企業や家庭における省エネルギー行動の促進に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
市の事務事業に伴う二酸化炭素排出量 (単位：t/年)	11,624	11,043	10,462	市の事務事業に伴って排出される二酸化炭素の量

関係個別計画

- ・ 砂川市地球温暖化対策職員行動計画



基本目標 2 ◆安全でやすらぎのあるまち

施策
2-4

(安全生活環境)
安全で安心な市民生活を支えるまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市民・行政・各種団体などが連携・協力し、交通安全意識や防犯意識を高めることで、地域の安全と安心が守られた住みよいまちを目指します。

現状と課題

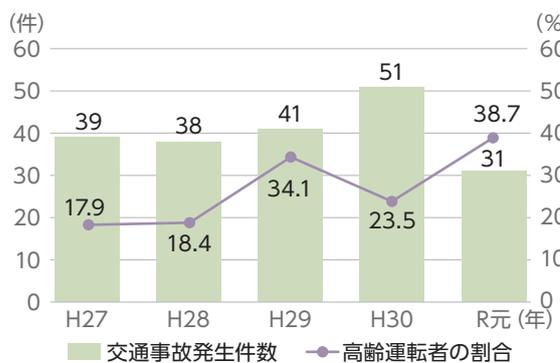
本市では、交通事故の発生件数や死傷者数は減少傾向にあります。しかし、まちの中心部を国道12号が南北に縦貫し、その他にも道道などの幹線道路が整備されているため、通過交通量が多く、交通弱者である子どもや高齢者が犠牲となる交通事故や、高齢化の進行に伴う高齢運転者による交通事故の増加などが懸念されます。

今後は、警察や交通安全推進委員会などと連携・協力し、交通安全運動や交通安全教室の開催を通して、交通安全に対する市民の意識の高揚を図る必要があります。

防犯についても、窃盗犯や住居侵入などの刑法認知件数は減少傾向にありますが、市民相互の連帯意識が希薄化していることから、警察や防犯協会などと連携・協力して、青色回転灯装着車両による市内パトロールなどを実施することで、市民の防犯意識の向上を図るとともに、防犯灯を適切に設置及び維持する団体を支援し、安全で住みよい地域社会を築くことが必要です。

消費者対策については、悪質商法*や特殊詐欺*の犯罪手口の巧妙化、成人年齢の引き下げによりトラブルに巻き込まれる世代が増えてくることが懸念されるなど、消費者を取り巻く環境が変化中、今後も情報提供や相談支援体制の充実を図り、消費者被害の未然防止に努める必要があります。

交通事故発生件数の推移



(資料：北海道)

刑法犯認知件数の推移

(単位：件)

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
重要犯罪	0	0	0	1	0
窃盗犯	104	58	38	33	54
粗暴犯	9	4	7	10	13
知能犯	3	0	4	1	1
風俗犯	2	0	1	2	2
その他刑法犯	22	29	17	16	9
合計	140	91	67	63	79

(資料：滝川警察署)

- ※重要犯罪…殺人、強盗、放火、強制性交等
- ※窃盗犯…空巢狙い、自転車盗、万引き等
- ※粗暴犯…暴行、傷害、脅迫、恐喝
- ※知能犯…詐欺、横領、偽造
- ※風俗犯…賭博、わいせつ
- ※その他刑法犯…器物損壊、住居侵入等

基本事業とねらい

基本事業 ① 交通安全の推進

交通安全教室の開催や警察など、関係機関・団体と連携した活動を通し、交通安全意識を高めていくとともに、危険箇所などに歩道や信号機などの交通安全施設の設置に向けた取り組みに努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
交通事故発生件数 (単位: 件/年)	31	↓	↓	市内の道路で車両などによって起きた人身事故の件数

基本事業 ② 防犯活動の推進

防犯協会など、関係機関・団体と連携して適切な情報を市民に提供し、防犯意識の向上に努めるとともに、防犯灯の適正な設置・維持を支援し、夜間における犯罪の防止を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
犯罪発生件数 (単位: 件/年)	79	↓	↓	市内の刑法犯の認知件数

基本事業 ③ 消費生活の安定

被害やトラブルを未然に防止するため、市民が正しい知識を身につけられるよう、情報提供に努めるとともに、相談体制を充実し、消費生活の安定を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
啓発活動実施回数 (単位: 回/年)	8	9	10	消費者問題にかかる啓発活動の実施回数

関係個別計画

- ・砂川市交通安全計画



交通安全街頭啓発 (砂川高校生徒による旗の波運動)

用語解説

- ※ 悪質商法……一般消費者を対象に組織的・反復的に敢行される商取引で、その商法自体に違法又は不当な手段・方法が組み込まれたもの。
- ※ 特殊詐欺……被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振り込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪の総称。

基本目標 2 ◆安全でやすらぎのあるまち

施策
2-5

(消防・救急)
消防・救急体制の充実したまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市民の尊い生命、身体及び財産を守るため、消防・救急体制の充実・強化を図るとともに、応急処置などの普及啓発や防火に対する意識を高め、市民が安心して生活できるまちを目指します。

現状と課題

本市の消防・救急業務を行っている砂川地区広域消防組合は、本市、奈井江町、浦臼町に平成24年（2012年）から上砂川町が新たに加わり、1市3町の広域体制となっています。火災に関しては市民の防火・防災意識の向上によって、本市の出火率（人口に対する火災発生率）は全国平均・全道平均を下回り、また、組合構成市町の相互連携により、初動体制は充実し、地域の消防力は強化されています。しかし、被災者の高齢化に伴い、懸念される逃げ遅れなどの人命被害増加を抑止するとともに、近年多発する大規模な災害に対応できる体制を構築して、市民が安心して生活できる環境を整えることが求められます。

そのため、消火栓、防火水槽などの消防水利や消防車両、専用資機材を計画的に更新し、消防体制の維持・強化に努める必要があります。

さらに、多様化する想定外の災害へ対応できる高度な知識・技術を習得した消防隊員を育成するとともに、災害の内容や規模が過去の事例とは変化してきていることを市民へ広く啓発することにより、官民一体となって地域の災害対応力を向上させる必要があります。

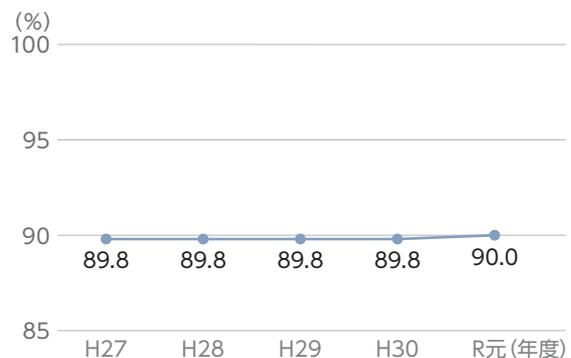
救急業務については、市民の高齢化と密接した現況であり、救急件数は対人口比で増加傾向が継続する見込みで、需要は増大しています。今後さらに進行する高齢化社会に対応できる救急体制を構築するため、救急サービスを多角的に捉え、関係機関との連携を強化し、救急活動におけるハード・ソフト両面の整備を図っていく必要があります。

火災件数、死傷者数及び救急・救助出動件数の推移 (件、人)

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
火災件数	9	9	11	10	14
(死傷者数)	(1)	(2)	(3)	(0)	(1)
建物火災件数	8	7	6	9	9
(死傷者数)	(1)	(2)	(3)	(0)	(1)
その他の火災件数	1	2	5	1	5
(死傷者数)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
救急出動件数	1,501	1,575	1,555	1,554	1,537
搬送人員	1,444	1,498	1,467	1,468	1,454
救助出動件数	12	17	14	29	32
救助人員	7	7	8	7	15

(資料：消防組合統計)

住宅用火災警報器普及率の推移



(資料：消防本部)

基本事業とねらい

基本事業

① 火災予防の推進

市民及び事業主に対し防火意識の向上を図り、家庭・職場・行政が一体となった火災予防体制の充実を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
住宅用火災警報器の設置率 (単位：%)	90.0	90.7	91.2	住宅用火災警報器を設置している一般住宅の割合

基本事業

② 消防体制の充実

発生する災害から市民の生命・財産を守り、被害を最小限に抑えるため、消防施設などの更新・強化を行い消防体制の充実を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
消防水利充足率 (単位：%)	52.0	54.0	56.0	市内の各用途地域別エリアのうち、消防水利が設置されている割合

基本事業

③ 救急体制の充実

高齢化社会に対応し、市民の尊い生命を救うため、救急体制の充実化を図ります。また、救命講習の更なる普及・拡充並びに高度救命処置技術を持った救急救命士の育成を図り、市民から消防隊員、救急隊員から病院への救命連鎖の確立に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
救命講習受講者数 (単位：人/年)	650	650	650	市民及び市内事業所による救命講習受講者数



高規格救急自動車



消防訓練

基本目標 2 安全でやすらぎのあるまち

施策
2-6

(地域防災・減災)
防災・減災に対応したまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市民の生命と財産を守るため、効率的で効果的な施設整備などにより、災害リスクの軽減を図るとともに、市民の防災意識の向上を図り、自主的な防災活動を促進し、市民主体の取り組み強化による防災意識の高いまちを目指します。

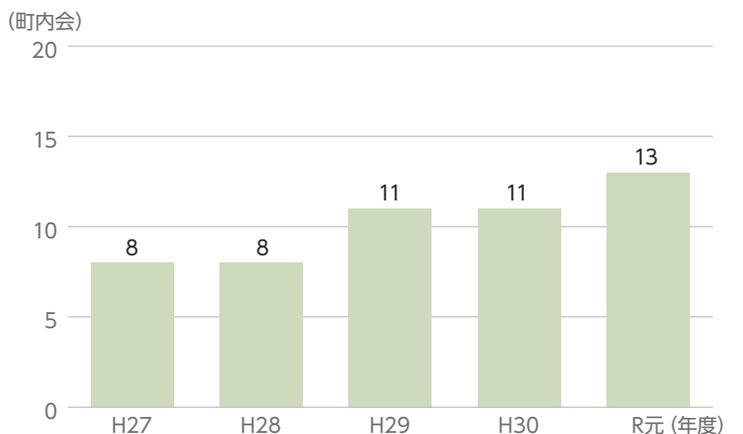
現状と課題

国により特定非常災害^{*}に指定される大規模災害が毎年発生し、自然災害の規模はこれまでに経験したことがない、新たなステージに突入していると言えます。広範囲で大規模な災害が発生すると、全てを公助（砂川市、道及び防災関係機関が実施する対策をいう。）により対応するには限界があることから、一人でも多くの命を救うためには、これまでの「行政主導による防災対策を強化する」という方向性を抜本的に見直し、市民が自らの命は自らが守る意識を持って自らの判断で避難行動をとり、行政がそれを全力で支援する「市民主体の取り組み強化による防災意識の高いまち」の構築が求められています。

そのため、地域における情報伝達系統や、避難・援助方法などをあらかじめ定めた自主防災組織^{*}の設立・育成を図るとともに、関係機関との連携のもとに、地域ぐるみでの多様な防災訓練や、防災・減災に関する知識を身につける啓発活動を継続して実施することが必要です。

また、自然災害を防止するための施設整備については、道路事業、雨水排水施設整備事業及び農業用排水路整備事業などにより、効率的で効果的な浸水防止対策を図るとともに、国や北海道に対し内水排除施設などの河川施設整備や山地災害対策事業の実施について要望していく必要があります。

自主防災組織数の推移



(資料：総務部市長公室課)

用語解説

- ※ 特定非常災害……著しく異常かつ激甚な非常災害のこと。これまでに阪神・淡路大震災（平成7年）、新潟県中越地震（平成16年）、東日本大震災（平成23年）、熊本地震（平成28年）、西日本豪雨（平成30年）、台風19号（令和元年）、令和2年7月豪雨の7例がある。
- ※ 自主防災組織……主に町内会が母体となって地域住民が自主的に連携して防災活動を行う団体。

基本事業とねらい

基本事業 ① 防災意識の向上

防災知識の周知や防災訓練への積極的な参加を促し、市民の防災意識を向上させ、災害に強いまちづくりに努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
SNSの公式アカウント登録率 (単位：%)	4.0	7.6	10.6	総人口のうち、防災に関するSNSのアカウントに登録している人の割合

基本事業 ② 地域防災力の向上

自主防災組織を育成して地域における情報伝達系統や避難・援助体制を確立し、地域防災力の向上を図ります。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
自主防災組織数 (単位：(延)町内会)	13	15	16	町内会による自主防災組織の延べ設置数

基本事業 ③ 災害を防ぐ施設整備の推進

自然災害を未然に防止するため、浸水対策及び山地災害対策を推進し、災害に強いまちづくりを進めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
雨水排水施設の整備延長 (単位：(延)km)	-	20	40	計画期間中における雨水排水施設の整備(再整備を含む)延長

関係個別計画

- ・砂川市地域防災計画
- ・砂川市水防計画
- ・砂川市国民保護計画



地域防災訓練